

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2020年 1月24日 No. 346
JR東日本労働組合
長野地方本部
発行者：臼井幸一
編集：情宣部

長野地本

「2020年新春旗開き」を開催しました！



1月18日（土）、「JA長野県ビル」において、長野地本「2020年新春旗開き」を開催しました。臼井執行委員長からの年頭所感では、「台風19号による被災組合員への支援行動について」「昨年取り組んだ変革2027の勉強会について」「新たなジョブローテーションについて」「JR東日本社員の労働組合への加入率について」「職場代表選の法制化の動きについて」「3月3日の春闘総決起集会について」などの話があり、「体調管理に気を付け、年に一回は全員参加の取り組み、業務・賃金の改善、組織拡大に向け、たたかいを創り出していこう！」「自分の立場で言いたいことを言える組織を創っていこう！」などの今年の方針が示されました。



本部生田書記長からは、「東日本ユニオンの現状・組織人員」「JR東日本の社員の労働組合加入率、他労組の現状について」「安倍首相や経団連の指針からみる今後の働き方改革について」「ナショナルセンター連合の方針について」「台風19号による会社への影響について」「春闘の情勢や今春闘の三本の柱（全組合員の参加・統一行動・共闘、連帯の追究）を中心としたたたかいについて」などの話があり、「後輩たちにJR労働運動の引継ぎを図っていこう！」などの今年の方針が示されました。



ジェイアール東日本労働組合長野地本退職者連絡会会長の新井修一様より、「東日本会社と相対する労働組合の展望」との題で講演をいただきました。

ブラック企業は社員を機械のようにこき使う会社である。「桜を見る会」の不正は障がい者を悪者にしようとしている。政治は弱い所に光を当てるものだが、今の政治は切り捨てる。政治がでたらめだと企業もでたらめになる。自殺者が出ているのは労働組合の責任。日本で労働組合加入者は17%。東日本会社でも社友会だけになればブラック企業と一緒にいる。社友会には交渉もできないし訴えることもできない。社友会には限界が来る。「基本的人権」の確立は人生の中で一番長く生活している職場でつくられる。それが会社をよくすることである。社員が幸せになれば会社も発展する。グループ企業関連労働者との連携を忘れないでほしい。私たちの頑張りでみんなを幸せにできるよう頑張ってもらいたい、などの話がありました。

2月に退職になる内山元委員長に退職のあいさつをいただきました。



長い間大変お疲れさまでした！

第二部の「新春祝賀会」では、くじ引きなどを行い楽しむと同時に、飲みながら懇親を深めてきました！

